

JPDA 5月定例理事会議事録

日 時：平成28年5月31日（火）午後1時～午後2時40分

場 所：東京ガーデンパレス 2階 「天空(A)」

東京都文京区湯島1-7-5 TEL. 03-3813-6211

出席者：理事22名中19名（加藤芳夫、伊藤 透、井上 聡、牛島志津子、畝野裕司、

江藤正典、小川裕子、加藤和美、加藤憲司、菊地泰輔、田川雅一、竹内清高、

永島 学、中森恭平、名久井貴信、藤田 隆、森 孝幹、八木勇達、

山崎 茂)

欠席届（梅原 真、信藤洋二、丸本彰一）

監事2名中2名（池田 毅、島崎英雄）

オブザーバー5名（青木あずさ、小川 亮、中越 出、永田麻美、時田秀久）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者19名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、伊藤透副理事長、池田毅監事、島崎英雄監事の4氏であることを確認し、議事に入る。

(決裁事項の議案号数はゴシック。)

第1号議案 新入会員入会審査の件

入会審査に先立ち、「あの人を会員に」キャンペーンに関し3月理事会で推薦した7名のその後の入会状況は、笹田陽勇氏と松田知寿子氏の二人が入会したことが案内された。

(1)「あの人を会員に」の推薦結果

☆3月理事会での推薦承認者（7名）

阿部 岳氏、金谷 勉氏、黒柳 潤氏、小板橋基希氏、笹田陽勇氏、

松田知寿子氏、宮田裕美詠(ゆみよ)氏

上記7名に対し、4月13日に「JPDA会員への推薦状」(回覧)を送付した。

☆入会申込のあった方（2名）

松田知寿子氏、笹田陽勇氏の2名から入会申込があった。

本日の理事会までに入会申込み法人1社、個人2人があり、定款6条並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人1社、個人2人の入会を承認した。

(2)法人会員（1社）

<東日本> 柏原紙商事株式会社（推薦者＝池田 毅）

(3)個人会員（2名）

<東日本>

青木孝代(たかよ)（推薦者＝三石 博）

日置 恵(ひおき めぐみ)（推薦者＝時田秀久）

第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員3社の退会を承認した。

(1)法人会員（3社）

<東日本>

株式会社イノアックコーポレーション（組織改編と経費の削減）[5月末退会希望]

有限会社PLaY（社員数減少のため、個人会員として入会）[5月末退会希望]

<西日本> 株式会社ガル（諸般の事情により）[4月末退会希望]

第3号議案 正副理事長報告

加藤理事長と伊藤副理事長から下記の報告があった。

加藤理事長報告 ・4/22 タイポグラフィ協会顕彰佐藤敬之輔賞&年鑑入賞表彰式に
田川理事が代理出席。

・6/14 2016日本パッケージングコンテスト(主催：日本包装技術協
会)審査会に出席予定。

伊藤副理事長報告 ・4/21 台湾貿易センター東京事務所の要請でセミナー講師を担当。

第4号議案 「熊本地震」への義援金募集について

4月14日及び4月16日に発生した阪神大震災と同規模の地震による被災者に対して、JPDA
はいち早く4月18日に義援金30万円を日本赤十字社に託したが、地震はその後活断層に
沿って大分県にまで拡大し、なお余震は続きおさまる状況にはありません。

その間の被害は莫大で、被災者の生活は困窮きわまる状況が続いており、JPDAとしても
更なる支援が必要と考え、会員を対象に義援金を募ることを決議し、デザイン団体に相応
しい送り先を検討することとした。

なお、被災者が多かった阪神淡路大震災の時は、会員被災者に向けた義援金の募金を行い、
この義援金を活用させていただき被災者の皆さまから感謝されたという経緯があるので、
震災の発生することは望みませんが、起きた時にはその状況に臨機応変に対応し最適の対
応をとることに努めることとする。

第5号議案 出版委員会：JPDA60周年記念企画の全体像について

加藤理事長から資料に沿って、JPDA創立60周年記念企画の全体像が案内されたが、各理事から下記の意見が出された。

- ・創立60周年記念事業の意義・目的を明確にした「大テーマ」を作成し、各委員会から「大テーマ」にそった委員会としての「企画案」を出して貰い、理事会で「集約」「拡大」を含めて検討するのが良いのではないか。
- ・上記の検討結果が「出版」と「展覧会」を中心にした企画案になっても、その他の委員会のフォローはJPDA全体の盛り上がり大切に考える。
- ・温故知新では無いが、先人の知恵を吸収することは大切であり、特に高齢者の方の知恵は早めにインタビュー等で確保しておく必要がある。その上で、企画内容は未来指向型を検討すべきと考える。

第6号議案 委員会報告

<報告事項>

○出版委員会

山崎理事から、資料に沿って下記の案内があった。

- ・「現代日本のパッケージデザイン2016」展について
凸版印刷P&Pギャラリーが主催し、JPDA、日本包装技術協会、日本印刷産業連合会が協賛する標題展覧会へのJPDAの出品作品は、「PACKAGE DESIGN INDEX 2016」掲載作品の中から、「シズル表現」をテーマに主催者側の意向に沿った作品を出品協力をいただく計画であり、7月末収集完了の予定である。
- ・「年鑑日本のパッケージデザイン2017」のAD(アートディレクター)について
標題年鑑のADに東京造形大学助教でアートディレクター、グラフィックデザイナーの高田唯(ゆい)氏に就任いただくことになった。

○デザイン保護委員会

- ・伊藤副理事長から、資料に沿って下記の案内があった。

1.) HP委員会レポートページの更新

3月28日【V o 1. 77】「パッケージデザイン保護・意匠権と立体商標の戦略的活用法」

- ・情報発信「パッケージデザインを戦略的に保護するには？」
- ・活動報告 第7回委員会実施について、概要は3月9日理事会で報告済み

4月26日【V o 1. 78】「JIDAマークのつれづれ、そしてデザイン職能の危機」

- ・情報発信「JIDAマークのつれづれ、そしてデザイン職能の危機」
- ・活動報告 第1回委員会実施について、概要は本書2.)に記載

6月1日【V o 1. 79】「新人クリエイター必修！事例から学ぶ・役立つ知財保護」

公開予定 ※同日、7月7日セミナーの参加者の募集を協会メルマガで配信する。

2.) 平成28年度第1回JPDAデザイン保護委員会実施

4月19日(火) 18:30~20:30 於: JPDA事務局会議室

議題1. 7月セミナーについて

若手・新人クリエイターを対象とした知財セミナーの具体的な実施計画が検討され、7月7日実施に向けての諸要素を整理し、分担して準備を開始することとした。

議題2. 11月セミナー「J-Plat Patの利用、画像検索の方法の実際の手順」(仮題)

概要を検討し、参加者が自分で画面の操作をして学べるセミナーとして準備していくこととなった。パソコン使用となるため、そのための会場・講師等の交渉も順次進めていくこと、講義の内容も、参加者がより理解しやすい方法を検討していくこと、等が話し合われた。日程は11月初旬から中旬の時期で実施する予定。

議題3.

事例についての意見交換: 「キャッチフレーズと商標」「明治対イソジン和解」
資料の配布「デザイン保護における意匠権の役割と意匠制度の重要性」

※詳細に関しては、JPDA ウェブサイトで確認ください。

○コンペ委員会

- ・名久井理事から、資料に沿って下記の案内があった。

6月6日のエントリー締切が迫っている旨のチラシが案内されたが、今回は募集スタートからエントリー締切までが非常にタイトであるとの意見が出され、エントリー締切を再考することになった。(その後、委員会で検討の結果、エントリー締切日は6月20日になった。)

○国際交流委員会

- ・今年の海外デザイン視察企画は、11月にアメリカ西海岸のサンフランシスコ・ポートランドを訪問予定で、6月募集・7月確定のスケジュールで考えていることが、森理事から案内された。なお今回は、募集案内チラシは作成せずメルマガとウェブサイトでの案内の予定であることが報告された。

○西日本委員会

- ・井上理事から、今期最初の勉強会「ひらく」は6月26日(日)にテキスタイルデザイナーの皆川明氏を講師に迎えて、TKPガーデンシティ京都で開催予定であることが案内された。

第7号議案 事務局報告

山崎事務局長から、資料に沿って下記の案内があった。

- ・会員状況について

- ・ 5月31日(火)スケジュールについて
- ・ 第35回通常総会・顕彰式・記念講演会・交流会の進行手順確認について(別紙参照)
- ・ 第35回通常総会等会場レイアウトについて(別紙参照)
- ・ 平成28年5月1日現在の会員数について
- ・ 平成28年度「事業カレンダー及び委員会名簿」の確認依頼について(別紙参照)

第8号議案 次回理事会開催スケジュール

日時：平成28年7月13日(水) 午後2時～5時

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前